

## 職域健康診断大規模データベースを利用した疾病発症危険因子の検索

2011年から2025年の間にキヤノン株式会社に在籍し、定期健康診断を受けた社員の方

### 研究協力をお願い

健康支援室では、「職域健康診断大規模データベースを利用した疾病発症危険因子の検索」という研究を日本医科大学へ委託しています。この研究は、2011年から2025年の間にキヤノン株式会社に在籍し定期健康診断を受けた社員の方を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：職域健康診断大規模データベースを利用した疾病発症危険因子の検索

研究期間：2021年8月1日～2026年3月31日

研究責任者：日本医科大学衛生学公衆衛生学 准教授 大塚 俊昭

(キヤノン内：人事部 健康支援室 副部長 矢内 美雪)

### (2) 研究の意義、目的について

我が国では高血圧や糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病の有病率が上昇しており、キヤノン社員の定期健康診断における有所見率も年々上昇しています。生活習慣病は名前の通り生活習慣の乱れが発症原因として考えられ、一般には、喫煙、運動不足、食べ過ぎ飲み過ぎ、野菜摂取不足、睡眠不足などが挙げられます。これまで、キヤノン社員を対象として生活習慣と生活習慣病の発症について最大8年にわたる追跡調査を行い、一部の生活習慣の乱れが生活習慣病発症に関係することを明らかにしました。しかしながら、より信頼性の高い情報を得るためには、さらに長期にわたる追跡調査が必要となります。そこで今回、日本医科大学に研究調査を委託し、2011年から2026年までのキヤノン社員の定期健康診断データを分析し、生活習慣病の発症に関する生活習慣およびその他の因子を明らかにする研究を行うこととなりました。生活習慣の改善は将来における生活習慣病の発症予防に重要であるため、キヤノン社員の健康保持活動を行うにあたり、本研究は極めて大切な結果を提供するものと期待できます。

この研究は、キヤノン株式会社と日本医科大学との間の委託研究契約に基づいて行われます。また、この研究内容については日本医科大学倫理委員会にて承認を得ています。

### (3) 研究の方法について

2011年から2025年の定期健康診断を受診した社員の方を対象に定期健康診断データを分析し、生活習慣病の発症状況とその発症に影響を与える因子(危険因子)を分析します。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報保護法、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)、および同・倫理指針ガイダンスに則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は、社内での健康増進活動に用いられます。また、学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 衛生学公衆衛生学 准教授 大塚 俊昭

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：7449

メールアドレス：otsuka@nms.ac.jp

キヤノン内の問い合わせ：人事部 健康支援室 副部長 矢内 美雪 内線：000-0000